

和倉小だより

8月号

学校教育目標：自ら考えて行動し、たくましく生きる児童の育成
スローガン：「幸せの和をアップデート」～自律・協調・貢献～

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>
学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp



七尾市立和倉小学校
TEL 62-2070
FAX 62-2082
文責：佐野

1学期 学校評価のご協力をありがとうございました！

保護者の皆様には、お忙しい中、Forms でのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。下記の結果のように、ほとんどの項目で肯定的評価をしていただくことができました。課題となった項目につきましては、2学期からの学校教育活動の改善に向けて、具体的な手立てを工夫して全教職員で努力していきます。また、後期も紙媒体でのアンケートからオンラインでのデジタル化を推進したいと考えていますので、回収率 100%をめざすように、ご協力をお願いいたします。

令和4年度 保護者アンケート結果（前期）

| | 質 問 項 目 | 肯定的評価 |
|----|--|-------|
| 1 | お子さんは、学校で勉強したり遊んだりすることが好きであると言っている。 | ○ 93% |
| 2 | お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。 | 88% |
| 3 | お子さんは、自分の思いや考えを話している。 | 86% |
| 4 | お子さんは、家で目標時間（低学年30分・中学年40分・高学年60分）程度勉強している。 | △ 66% |
| 5 | お子さんは、話をしっかり聞く力が身についている。 | 75% |
| 6 | お子さんは、忘れ物をしないで学校に通っている。 | 83% |
| 7 | お子さんは、家で進んであいさつをしている。 | 85% |
| 8 | お子さんは、家族のために役立つことを進んでしている。 | 79% |
| 9 | お子さんに、早寝・早起き・朝ご飯の習慣や歯みがきが身に付くよう働きかけている。または身に付いている。 | ○ 92% |
| 10 | 先生は、子どものよいところを見つけて、ほめてくれる。 | 83% |
| 11 | 学校は、学校だよりや学年だより・メール配信等で、経営方針や学校の様子などをよく伝えている。 | ○ 91% |
| 12 | 学校は、保護者の相談等に丁寧に対応している。 | 83% |
| 13 | 学校は、いじめの未然防止や早期の発見と対応を行っている。 | △ 67% |
| 14 | 学校は、安全教育（防犯・防災・避難訓練・交通安全教室等）を適切に行っている。 | ○ 91% |

- ①「学校での勉強、遊びが好きである」は93%で、目指す児童「学校大好き、友達大好きわくらっ子」の姿について、機会を捉えて全校児童と共有できたことが評価に繋がったと言えます。
- ⑨「早寝早起き朝ごはん、歯みがきの習慣」は92%で、生活習慣に向けた「わくらっ子生活リズムチャレンジ」の取組や学級会指導や体重測定後の養護教諭による歯みがき指導等が有効であったと思われます。
- ⑭「安全教育を適切に行う」は91%で、引き渡し訓練をはじめ交通安全教室など、安全に関わる行事を保護者と連携して毎月のように実施したことで安全に対する意識が高まったと思われます。
- △④「家庭で目標時間勉強している」は66%であり、授業参観後の学校説明会等で保護者に家庭学習の時間をお知らせしましたが、まだまだ不十分でした。2学期からさらに「なぜ学ぶのか」の目的を児童と再確認し、家庭との連携を強化していきます。
- △⑬「いじめの未然防止、早期発見と対応をしている」は67%であり、学校での様子やその対応について保護者の方にお知らせするように工夫していきたいと思えます。

＜保護者の皆様のコメントより（⇒学校からの回答）＞

- **にこびかをいつも楽しみにしていますが、せっかくの写真がモノクロだとあまり意味がない。**
(⇒保護者の方に配布する学校だよりや学級だよりなどの印刷物をカラー印刷したいところですが、学校予算の経費削減のため、白黒にさせていただいております。カラー印刷は、児童の授業で提示する教材や教室・校内掲示物にしておりますことをご理解ください。)
- **いつもお世話になっています。週1で宿題無しの曜日があっていいなと思います。**
(⇒宿題は、児童の学力の定着のために、各学年の家庭学習の目安の時間を提示して出しています。週1で宿題なしとなれば、土・日の日曜日を宿題なしにできるように土曜日に終わるようにしたらいかがでしょうか。担任からのご褒美として、何かがんばったことがあれば、宿題なしの日があることも考えられます。)
- **お気づきになるよりは、まだしっかり学校の中身が見えていないのが寂しいです。**
(⇒学校の様子が見えるように、おたよりやホームページなどでお伝えできる機会を増やす工夫をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。)
- **いつもお世話になっています。タブレットを使用するのは将来のことを考えると良いことだと思うのですが、視力低下や姿勢（首など）が少し心配です。まだ低学年なので余計に思っています。**
(⇒タブレットの使用における児童の視力の低下が危惧されています。学校でのタブレットの使用時のみならず、家庭でのパソコンやゲームの使用の際におきましても、学校と家庭が連携して、児童の健康面について、ルールをしっかりと守るように指導していくことが大切であると考えます。今後ともご協力をよろしくお願いたします。)
- **クラスのおたよりがほぼ無い為、学校生活が伝わってこない。**
(⇒学級だよりは、どのクラスも月に1回は必ず出していますので、保護者の方に届いていないようであれば、学校までご連絡をお願いいたします。今後は、できるだけ学校生活の様子をお伝えできるように努力していきます。)
- **担任の不在期間があったことは仕方ないこととは思いつつ、フォロー体制の不足を感じざるを得ませんでした。今後授業の遅れを取り戻すとしても、児童の負担感が大きくなることを懸念しています。児童に寄り添った適切な対応を望みます。**
(⇒この度は、保護者の皆様に、ご心配をおかけしましたことに対し、お詫び申し上げます。担任が不在となった期間は、全教職員が限られた人員の中、フル稼働で児童や保護者の皆様に不都合がないように誠心誠意の対応と学校運営をさせていただきました。3年生と5年生の担任、そして支援員までが同時に不在になってしまい、教頭や教務主任が担任の代替をし、校長や教頭が授業の進捗に遅れが出ないように学習を進めさせていただきました。今後も、新型コロナウイルス感染症による影響や、長期研修による不在などが同時に発生する等、様々なことが想定されます。全教職員が一丸となって、児童のために全力で指導していきます。)
- **ホームページの更新希望**
(⇒ホームページの更新が不十分であったことが1学期の課題でした。閲覧されることを楽しみにされた方もおられますので、今後は、更新の機会を増やし、学校の様子をお伝えすることができるように努力してまいります。)
- **授業中よく騒がしいと聞いています。先生方も注意していると聞いていますが、静かに授業を受けたい子供にはストレスが溜まっているように思います。静かに授業ができるように、担任の先生方をはじめ、和倉小学校全体で取組をしてほしいと思います。また、漢字のミスや授業の定着ができていないように見受けられるところがあるので、自学ノートの活用や三文日記を取り入れるなど、どんどん定着できるように取り組みしてほしいです。家でするように言っても宿題じゃないとやりたがらないからです。他の七尾市の小学校との学力の差がどんどんついていっているように感じ不安です。**
(⇒学級の中で、児童が落ち着かないことがあれば、すぐに校長や教頭がサポートしたり、指導したりしています。担任一人だけではなく、全教職員での体制づくりを工夫しています。児童には、自分のことだけでなく、友達の気持ちまで考えられるように粘り強く指導していきます。そのためには、学校だけではなく、家庭の皆様のご協力が不可欠です。学習内容の定着や学力向上においても、七尾市の小学校や中学校との連携や情報交換会などを効果的に行い、児童や保護者の方が安心して学べる環境づくりや指導の工夫をしていきます。)
- **先生はいいところを見つけて褒めてくれるの設問は親子即答で「よくあてはまる」と声が揃いました。いつもありがとうございます。**
(⇒今後も一人一人のいいところを褒めたり、頑張っていることを認めたり励ましたりして、児童の自己肯定感が高められるように全教職員で温かい指導を心がけていきます。こちらこそ、ありがとうございます。)
- **学校に行くことをいつも楽しみにしています。丁寧なご指導をありがとうございます。**
- **いつも大変お世話になっております。学校を楽しく通っており、感謝しています。ありがとうございます。**
(⇒大変ありがたいお言葉をいただき、うれしく思っております。今後は児童が、「学校大好き、友達大好き、和倉っ子」をめざして、日々「幸せの和をアップデート」できるように指導していきたいと思っております。)
- **初めての授業参観日の時に、担任の先生が、あまりの七尾弁でビックリしました。六年生だからこそ、もう少し、普通の言葉を使って子供たちと、接してほしいです。**
(⇒児童との信頼関係づくりをする上で、担任の言葉遣いは大変重要になってきます。4月の段階で七尾弁で話していたことは、児童の思いや考えを引き出し、発表しやすい雰囲気づくりをしようとしたことが考えられます。今後は、正しい言葉遣いや標準語での指導を心がけるように全教職員で共通理解をしていきます。)